

平成24年度
平成23年度実施

事務事業評価調書

整理番号	6 - 4
作成年月日	H24. 7. 31
事業区分	☒ 継続 ☐ 新規

事務事業名 固定資産データ修正業務

事業開始年度	平成20年度	住民参加	☐ 有	関係例規・法令名	
事業終了年度	平成24年度	住民協働	☒ 無	関係個別計画名	

会計区分	一般会計	款	2. 総務費	項	2. 徴税費	目	2. 賦課徴収費
------	------	---	--------	---	--------	---	----------

担当課	住民課	担当係名	税務係	調書作成者職氏名	係長 浜田 康弘
-----	-----	------	-----	----------	----------

【第五期興部町総合計画】	☒ 登載事業	☐ 非登載事業	実施計画登載No	166
--------------	--	--------------------------------	----------	-----

分類	コード	名称
基本目標	6	改革を進める“まちづくり”
施策項目	33	適正な行財政の推進
単位施策	2	財政運営

I. 事業計画

(1) 事業の相手	※ 何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのか具体的に記載して下さい。 土地、家屋
(2) 事業の概要	※ 目指すべき姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載して下さい。 業者委託により土地、家屋の異動に伴う公図及びCDの修正を毎年実施し、固定資産台帳の付属資料として備え付ける。
(3) 事業の成果 目指す姿	※ 事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載して下さい。 ○土地、家屋の異動に伴う公図及びCDの修正を実施し、課税客体を把握する。 ○所有者の情報管理適正化（課税台帳の整備） ○公正・公平な課税基準額資料の作成。

II. 指標【成果を判断する目標数値】

No	種別	内 容	区 分	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
1	対象指標		目標値 実績値	人					
2	活動指標		目標値 実績値	回					
3	成果指標		目標値 実績値	千円					
4			目標値 実績値						

III. 事業費の推移 (単位：千円)

区 分	19年度 決 算	20年度 決 算	21年度 決 算	22年度 決 算	23年度 決 算	24年度 見 込	20～24年度 合 計
事業費(千円)	510	630	487	500	0	492	2,109
財源内訳							
国庫支出金							0
道支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源	510	630	487	500	0	492	2,109

IV. 担当課による事務事業の評価

区 分	チェック項目の説明（内容）等
1. 実施の妥当性 (1) 町の政策的な事業である。 ☒ (2) 公共性が高い事業である。 ☐ (3) 緊急性が高い事業である。 ☐ (4) 法令等により実施が義務付けられている。 ☒ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	土地、家屋の異動に伴う公図及びCDの修正により適正な課税客体の把握ができています。
2. 経済性・効率性 (1) 費用に見合う効果がある。 ☒ (2) コスト削減の余地がある。 ☐ (3) 受益者負担の余地がある。 ☐ (4) 補助制度等活用の可能性がある。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	○長年の情報の積み重ねと専門的な知識・技術が必要なため、業務委託している効果はある。 ○競争入札によるコストダウンを図った場合、長年積み上げてきたデータを基にCDを作成しているため、新たな業者となった場合は、正確性に疑義が生じる可能性がある。
3. 必要性 (1) 町民のニーズがある。（高い） ☐ (2) 事業を継続する必要がある。 ☒ (3) 類似事業との統合・再編の可能性がある。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☐	○固定資産税の公正、公平な課税基準や納税者を確定するためには、必要な事業である。 ○住民から不平、不満を出さないためにも、必要な事業である。
4. 代替性 (1) 行政主体による実施が適当である。 ☒ (2) 民間委託等による実施が可能である。 ☐ (3) 住民協働（主体）による実施が可能である。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☐	
5. 事業の達成度 (1) 期待どおりの成果があがっている。 ☐ (2) 概ね期待どおりの成果があがっている。 ☐ (3) 成果が不十分である。 ☐ (4) 事業の見直し等が必要である。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	

特記事項

V. 一 次 評 価（所管課）、二 次 評 価（庁内評価委員会）

区 分	評 価	評 価 選 択 理 由 / 今 後 の 方 向 性
一 次 評 価	継 続 【現状維持】	土地、家屋の異動に伴う公図及びCDの修正を実施し、課税客体を把握することは、公正・公平な課税基準を設けることとなり、必要不可欠な事業である。
二 次 評 価		二次評価対象外

VI. 外部意見（興部町総合計画策定審議会）

--	--

VII. 総合評価（町長、副町長、教育長）

最 終 評 価	評 価 選 択 理 由 / 今 後 の 方 向 性

☆ 評 価

- (1) 継 続 **【現状維持】** ⇒ 事業内容、事業量に大きな変動がなく、予算増減が少ないもの
 (2) 継 続 **【拡 充】** ⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算増を伴うもの
 (3) 継 続 **【縮 小】** ⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算減を伴うもの
 (4) 継 続 **【統 合】** ⇒ 事業内容の類似する事業に統合し、この事業を廃止するもの

- (5) 終 了 ⇒ 単年度事業、期間満了による事業の終了
 (6) 休 止 ⇒ 隔年度での事業実施などによる事業の休止
 (7) 廃 止 ⇒ この事業を廃止するもの